

昭和天白瑞穂民主商工会

名古屋市瑞穂区大喜新町2-4

TEL:052-889-6611

FAX:052-889-6610

昭天瑞民商だより

コロナ対策を勉強しよう!

9月29日(火)に昭和区生涯学習センターと天白スポーツセンターで「秋のコロナ減免学習相談会」が開催されました。新型コロナウイルス感染症による影響で、収入が激減したり、廃業・失業に追い込まれた世帯への救済措置として国保の減免申請や、事業者への給付金として「家賃支援給付金」「持続化給付金」の説明など、様々な情報について学習相談会を行いました。参加された、会員のさんは家賃支援給付金について、先週の商工新聞に入れた「民商だよりの直近1ヶ月は…」という記事の意味が分かりにくかったので、もう一度教えてほしいと相談がありました。再度、図を使って説明を行い、納得していただき、後日大家さんに書類をもらって再申請することとなりました。認識のズレや書類の書き方などが原因で給付までの時間がかかってしまうことがありますので、分からないときはお早めに民商へご相談下さい。



国保料を大幅に引き下げて

名古屋市は生まれたばかりの赤ん坊にまで保険料の負担を強いています。愛知県内の他の市町村では軽減制度がある所も多く、制度の拡充を訴えます。また、差し押さえも急増しており、2006年度から2018年度までの12年間でおよそ315倍にまでふくれあがっています。名古屋市に対して改善を求める請願書の署名を行っているので、是非署名にご協力をお願いします。

市税の強権的なやり方を許さない!

市税の強権的な差し押さえが横行しています。瑞穂区のTさんは固定資産税未払いにより、本来差し押さえの対象ではない年金の差し押さえを行いますと言う文書が自宅に届き、あわてて民商に相談。その後、金山市税事務所へ担当事務局員と二人で交渉に行き、差し押さえを解除させ、年金の差し押さえは行わないと言質を取りました。また、天白区のOさんはこのコロナによる収入減で市税の滞納があり、差し押さえが行われたことで生活が非常に苦しくなり、野並出張所に交渉に行き、生活の現状を訴えましたが、「自分たちは法律に基づいてやっている」の一点張りです。生存権などについてはなしても聞く耳もたずで途方に暮れていました。このままではせつなく申請した「持続化給付金」も差し押さえられるのではと、思い民商に相談しました。一緒に市税に相談に行き、名古屋市のお返答などを基に話し合いを行い、一旦差し押さえをやめ、10月15日以降に徴収課に移したあとで、「換価の猶予」の相談に連絡を行った。させました。このように、一方的に連絡を行ったうえで、折り返しが無いから払う気がないと勝手に判断し、差し押さえを行うケースが多発しています。業者全体、国民全体がコロナで大変なとき、「自分たちは法律に沿ってやっているから」と現状も見ず、相談にものらないという声が多く挙がっています。ほかについても、無くなるわけでも、有耶無耶になるわけでもなく、さらに状況が悪化してしまいます。督促状が来たら、直ぐに民商へご相談下さい。また、お近くに困っている方がみえましたらご紹介下さい!